

臨床検査・救急蘇生法

講 師	岡 安 一 郎	実施時期 単 位 数	第 2 学年前・後期 2 単位 （30 時間）	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な臨床検査、全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔および救急蘇生法を理解する。				
授 業 概 要	歯科医療における臨床検査、歯科麻酔および患者管理について学ぶ。 なお、歯科麻酔の一領域であるペインクリニックについても、舌痛症や顎関節症、非菌性歯痛や頭痛を例に、医療面接、診察、検査、診断、管理の一連の流れを紹介する。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	期末試験の結果を中心に、授業への参加度を考慮して評価を算出する。 筆記試験90%、授業への参加度10%				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「臨床検査」 医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」 医歯薬出版				
履修上の注意	教科書に基づいて講義を進めていきますので、教科書を持参下さい。				
参 考 書	1) 食文化と歯 石岡 靖 著 口腔保健協会 2) あきらめないで！口から食べること 角町正勝 著 松風 3) 知ると得する歯科麻酔—ようこそ！ 歯科麻酔の世界へ— 大井久美子 著 口腔保健協会				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	臨床検査	臨床検査の必要性について説明できる。
2	生体検査① —体温、脈拍、血圧—	バイタルサインの測定ができる。
3	生体検査② —心機能、肺機能、筋電図、脳波、 血中酸素濃度—	生体検査(生理機能検査)を説明できる。
4	検体検査① —血液 1—	血液検査、血液凝固・線溶系検査、生化学検査を説明できる。
5	検体検査② —血液 2—	免疫・血清検査、血液型検査、赤血球沈降速度検査を説明できる。
6	検体検査③ —感染症(細菌)、病理—	感染症(細菌)検査、病理検査を説明できる。
7	口腔領域の臨床検査 —口臭、味覚、歯科金属アレルギー、 舌、口腔粘膜、唾液等—	口腔領域の臨床検査を説明できる。
8	主な疾患①	主な全身疾患について説明できる。
9	主な疾患②	主な全身疾患に対する歯科治療上の注意点について説明できる。
10	臨床検査まとめ	検査の目的を説明できる。
11	歯科麻酔	歯科治療における歯科麻酔の役割を説明できる。
12	局所麻酔	局所麻酔について説明できる。
13	精神鎮静法・全身麻酔	精神鎮静法と全身麻酔について説明できる。
14	救急蘇生法	一次救命処置について説明できる。
15	歯科麻酔まとめ	麻酔の目的を説明できる。